

平成24年7月23日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
代 表 者 名 代表取締役 長 久 厚
(コード番号：4579)
問 合 せ 先 取締役 常務執行役員 古田 晃浩
(TEL. 0569-84-0700)

EP₄拮抗薬の医薬品原薬開発契約に関するお知らせ

本日、当社は、Aratana Therapeutics, Inc.（本社：米国カンザスシティ、代表取締役：Dr. Linda Rhodes、以下「アラタナ社」）との間において、EP₄拮抗薬RQ-0000007の原薬をアラタナ社が開発・製造し、今後の医薬の開発に使用するという医薬品原薬開発契約（詳細は以下をご参照ください。）の締結に関する取締役会決議を行い、その後、同契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

1. 医薬品原薬開発契約に至った経緯と理由

当社は、平成22年12月、アラタナ社に対して、当社の所有する当該EP₄拮抗薬の、動物薬としての全世界ライセンス権を許諾し、アラタナ社はこれをペット動物の鎮痛などの薬として全世界の市場を視野に入れて開発を進めております。医薬品原薬とは、医療効果を示す化学物質成分を含む原薬のことであり、本契約の締結は、アラタナ社が当該EP₄拮抗薬の開発をさらに次の段階に進めることができるようになったということを意味します。当該原薬はヒトにも使用できるものであり、当社においても、当該製造されたEP₄拮抗薬の原薬を、今後、鎮痛、自己免疫疾患及び癌に対するヒトを対象とする医薬品製剤とすることにより、開発を迅速に進めることが可能となります。

2. 医薬品原薬開発契約の概要

アラタナ社は当該EP₄拮抗薬の原薬開発及び製造を実施し、その原薬を動物薬開発に使用します。当社は、アラタナ社に一定の対価を支払うことにより、アラタナ社からその原薬の一部と日米欧医薬品規制調和国際会議ガイドラインに準拠した製造データ等を受領します。

3. 今後の見通し

本提携が、当社が平成24年2月16日に公表した通期業績予想に与える影響はありませんが、中長期的に業績向上に資するものであります。

以上

(ご参考)

【世界の動物薬市場の状況】

世界の動物薬市場（家畜用及びペット用）は、平成22年には約200億ドル（約1兆6千万円）です。米国においては、平成24年は平成22年に比べて5.9%増加すると予測されています。また、ペット用動物薬の分野の鎮痛薬は、動物薬の分野でも今後重要な位置を占めると予想されています。